

# 最近の経済動向

平成27年12月号

(平成27年10月の経済指標を中心として)

## 【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

## 【需要動向（消費・投資）】

- P 1 ■個人消費 ～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる  
百貨店・スーパー販売額  
コンビニエンスストア販売額  
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設 ～ 足踏み感がみられる  
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事 ～ 増加している  
公共工事請負金額
- P 3 ■観光 ～ 改善している  
来道者数
- P 4 ■輸出入 ～ 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った  
輸出入額

## 【生産動向】

- P 5 ■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている  
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力 ～ 前年を下回った  
電力需要
- P 6 ■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した  
企業倒産件数  
負債総額

## 【雇用動向】

- P 7 ■求人・求職 ～ 改善している  
月間有効求人数・求職者数  
有効求人倍率
- P 8 ■失業  
完全失業者数  
完全失業率

## 【物価動向】

- P 8 ■物価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った  
消費者物価指数

## 【企業情報】

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

## 【地域の経済動向】

- P 11 ■地域の経済動向  
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

## 【景気動向指数・全国の景気】

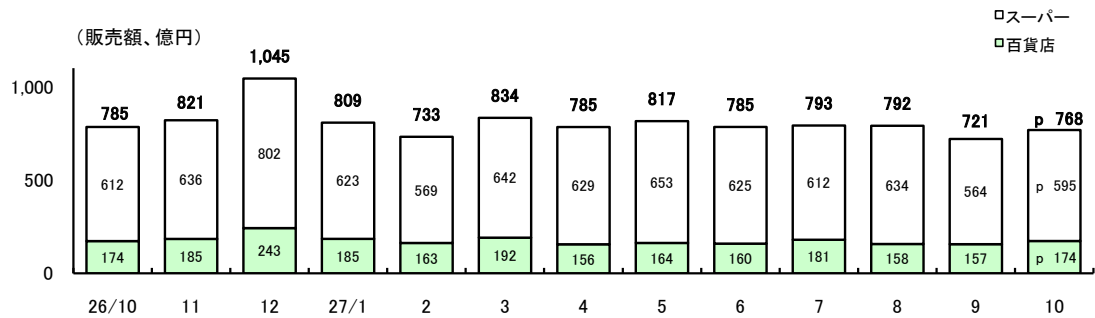
- P 17 ■北海道の景気動向指数
- P 18 ■全国の景気

## [需要動向(消費・投資)]

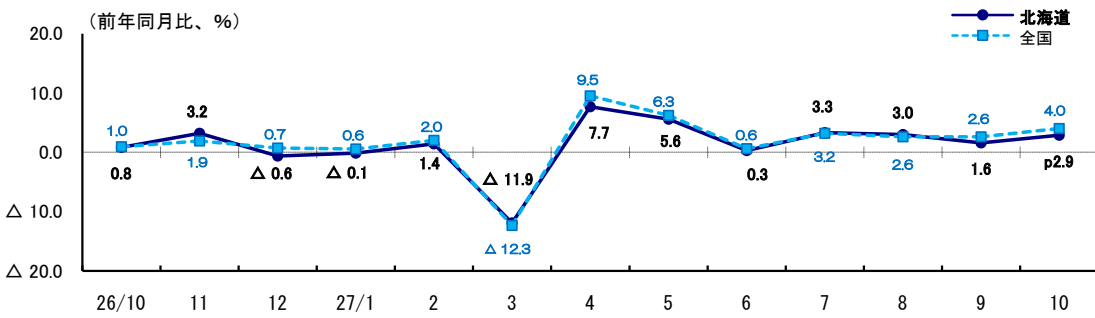
### ■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

#### ◆百貨店・スーパー(全店)販売額(10月)◆

百貨店・スーパー販売額は、768億円で前年同月比2.9%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。



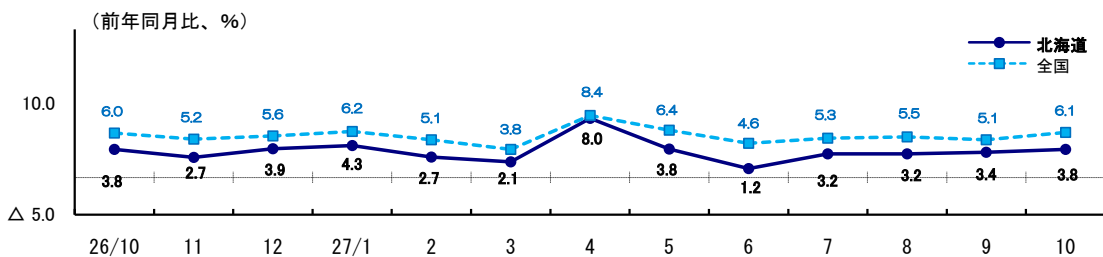
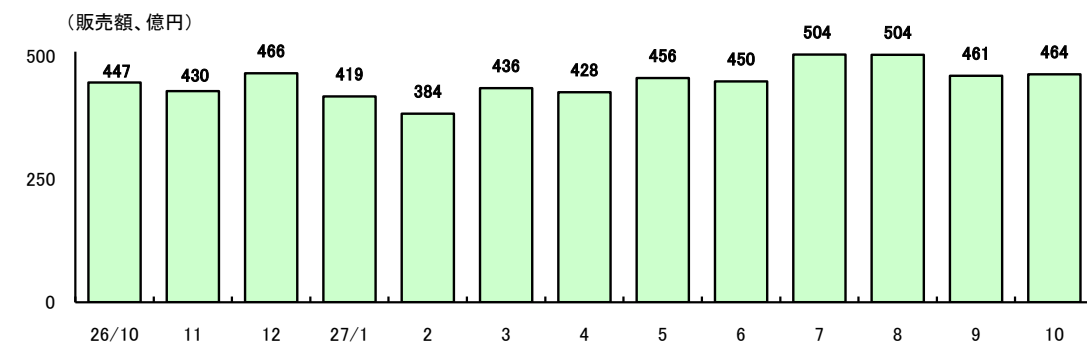
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

#### ◆コンビニエンスストア(全店)販売額(10月)◆

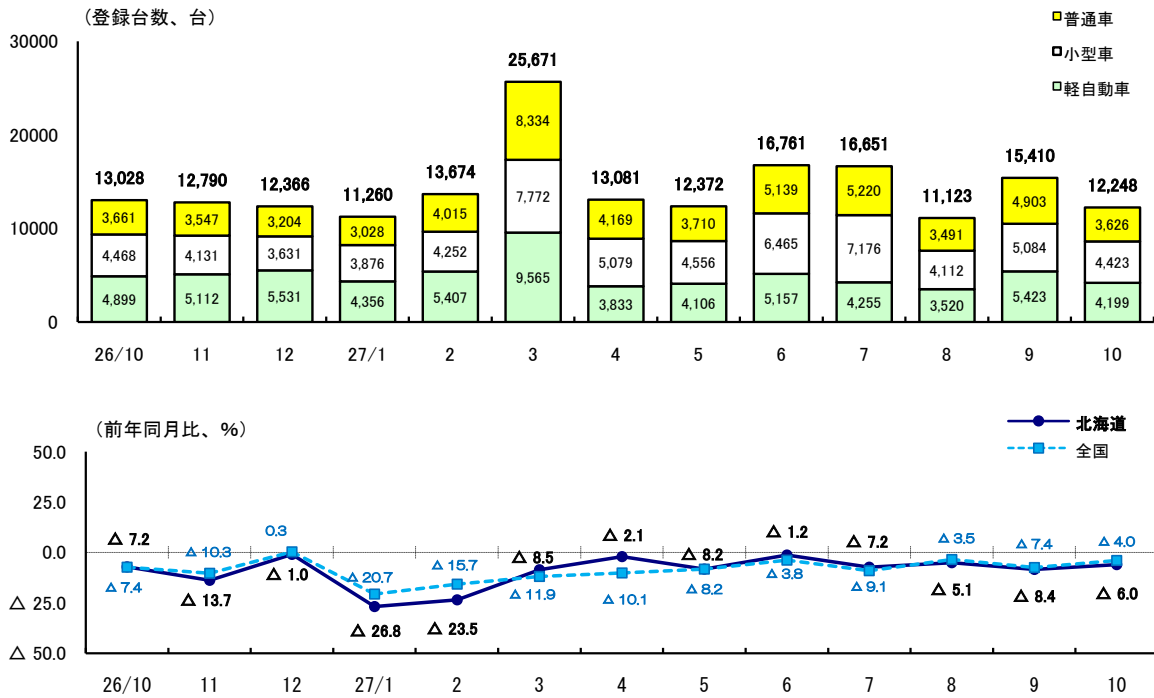
コンビニエンスストア販売額は、464億円で前年同月比3.8%の増加となり、25か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

## ◆新車登録台数（10月）◆

新車登録台数は、12,248台で前年同月比6.0%の減少となり、19か月連続で前年を下回った。

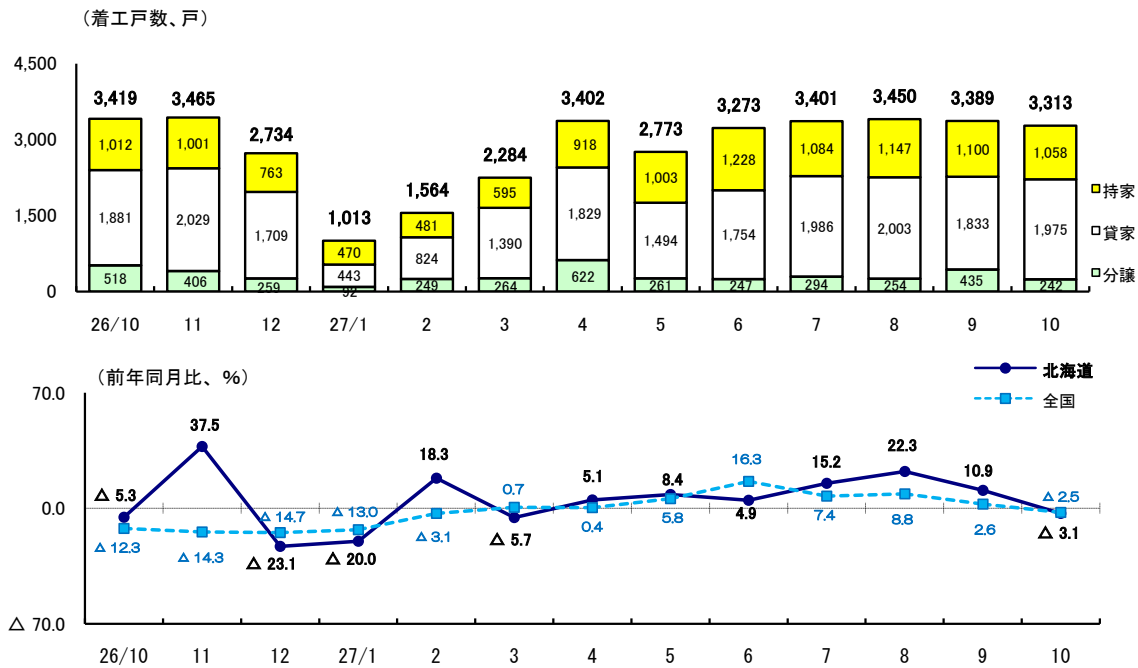


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

## ■住宅建設 ～ 足踏み感がみられる

### ◆新設住宅着工戸数（10月）◆

総戸数は、3,313戸で前年同月比3.1%の減少となり、7か月ぶりに前年を下回った。

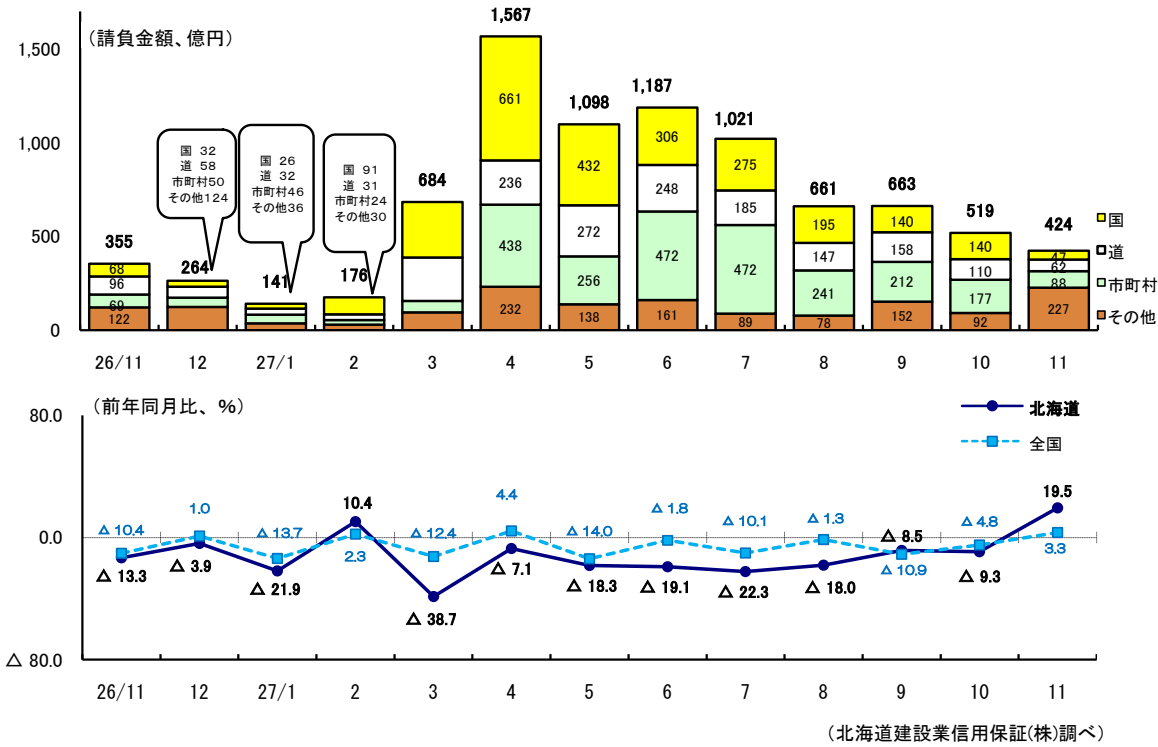


(国土交通省住宅局調べ)

## ■公共工事 ～ 増加している

### ◆公共工事請負金額（11月）◆

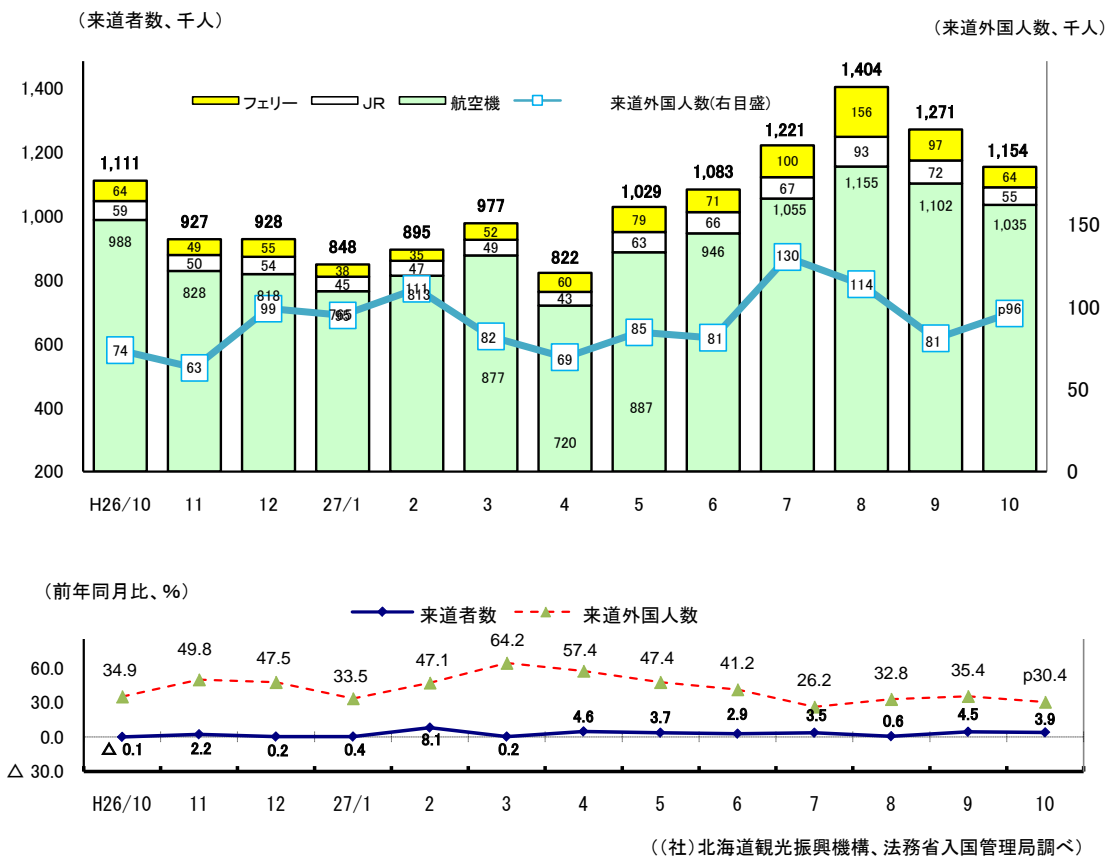
請負金額は、424億円で前年同月比19.5%の増加となり、9か月ぶりに前年を上回った。



## ■観光 ～ 改善している

### ◆来道者数（10月）◆

来道者数は、115万4千人で前年同月比3.9%の増加となり、12か月連続で前年を上回った。  
本道に直接入国した外国人は、9万6千人で同30.4%の増加となり、33か月連続で前年を上回った。

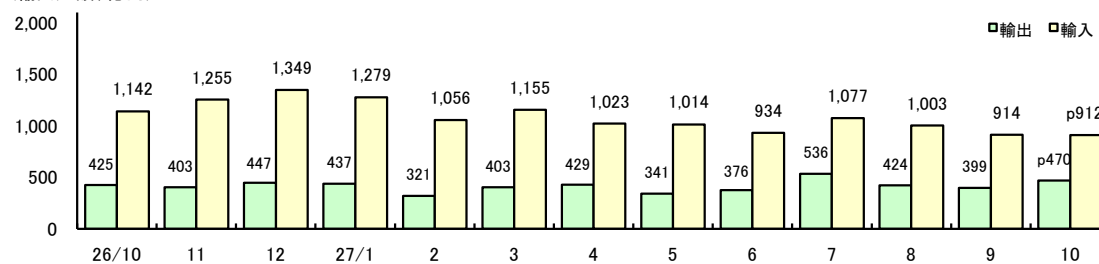


## ■輸出入～輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

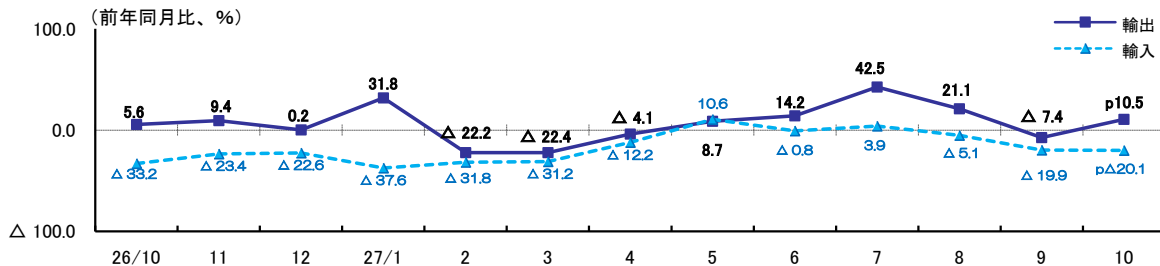
### ◆輸出入額（10月）◆

輸出額は、470億円で前年同月比10.5%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。  
 輸入額は、912億円で同20.1%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。

(輸出入額、億円)



(前年同月比、%)



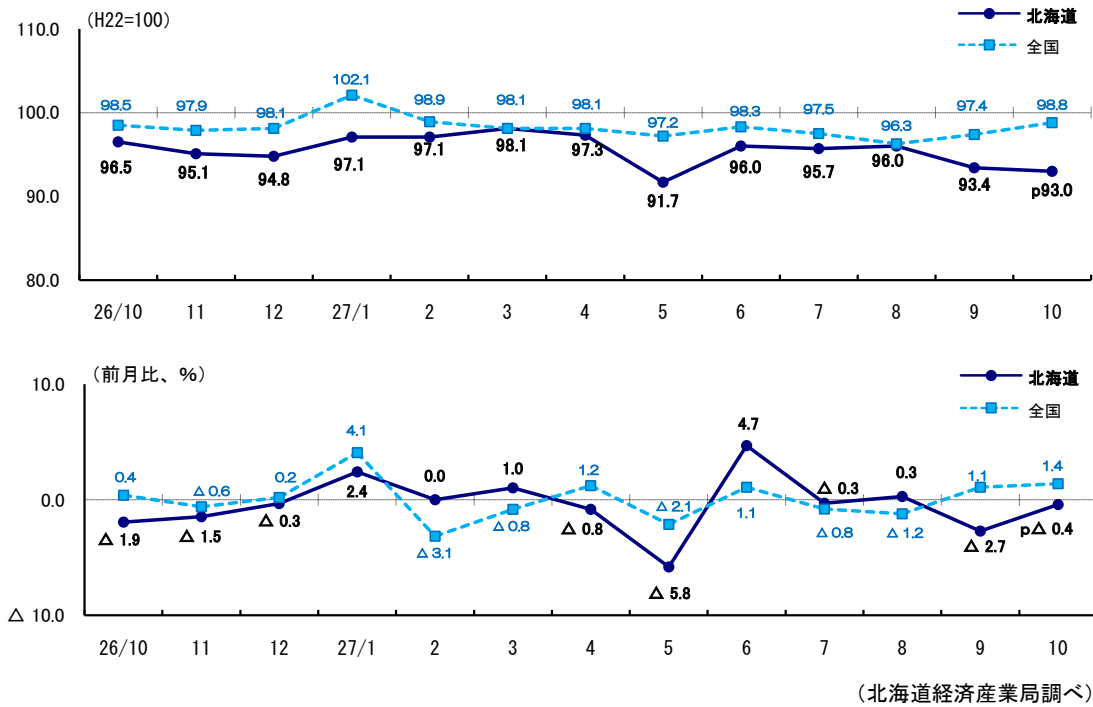
(財務省、函館税関調べ)

## [生産動向]

### ■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている

#### ◆鉱工業生産指数（10月）◆

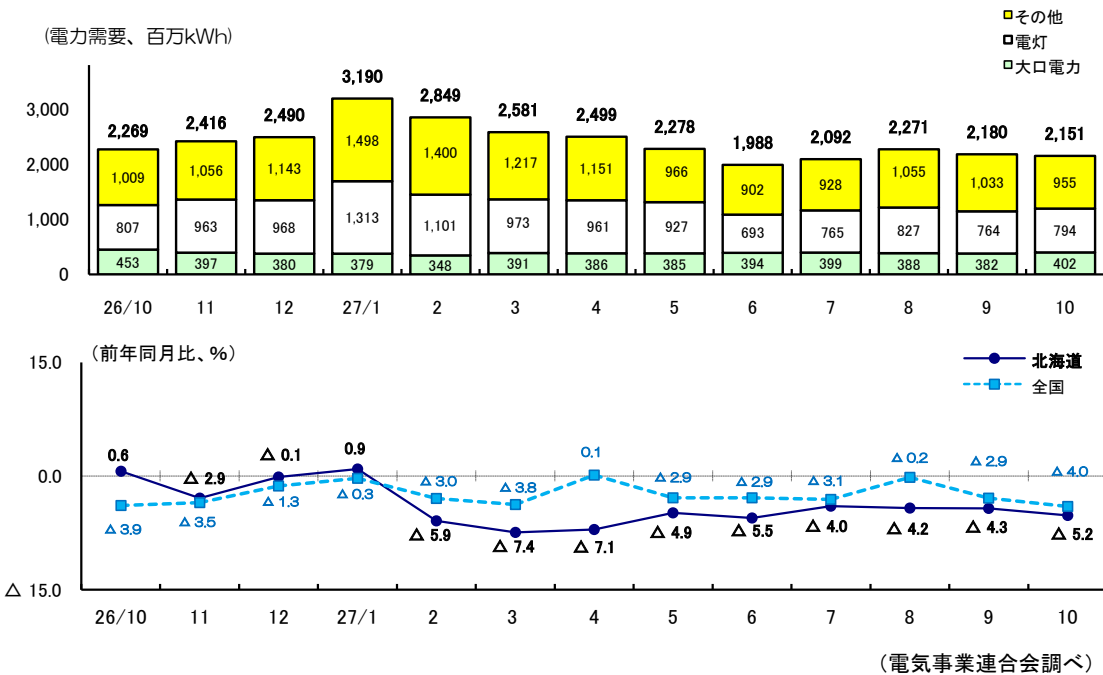
鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.0で前月比0.4%の低下となり2か月連続で前月を下回った。



### ■電 力 ～ 前年を下回った

#### ◆電力需要（10月）◆

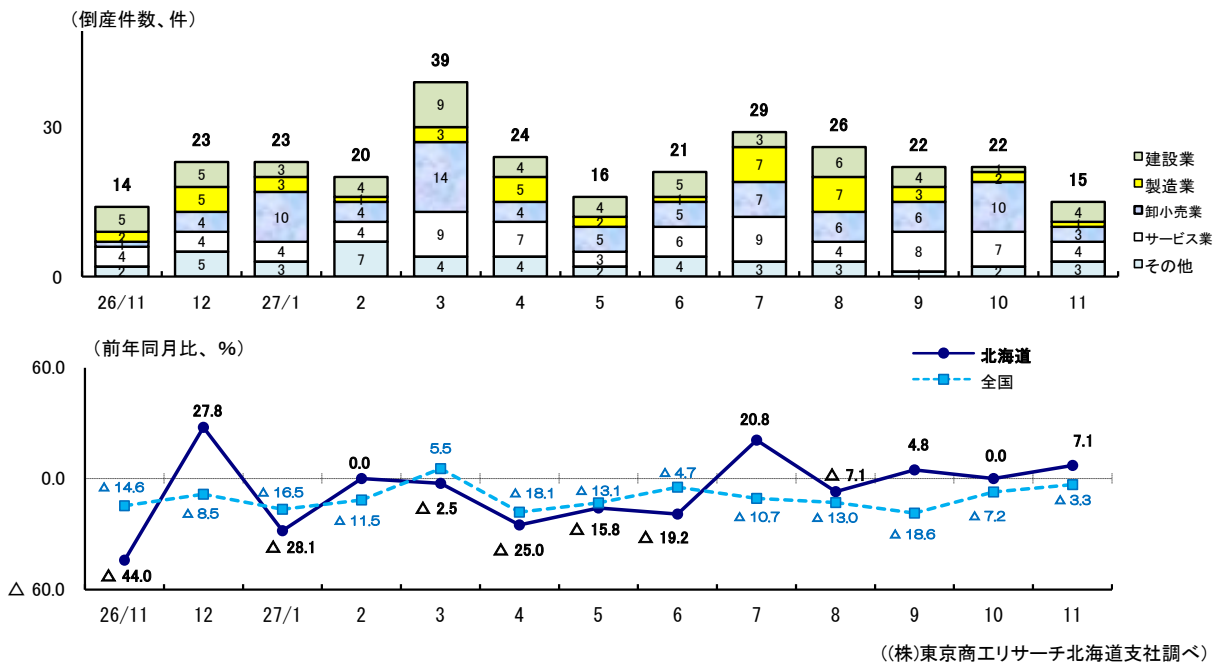
電力需要は、2,151百万kWhで前年同月比5.2%の減少となり、9か月連続で前年を下回った。



## ■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した

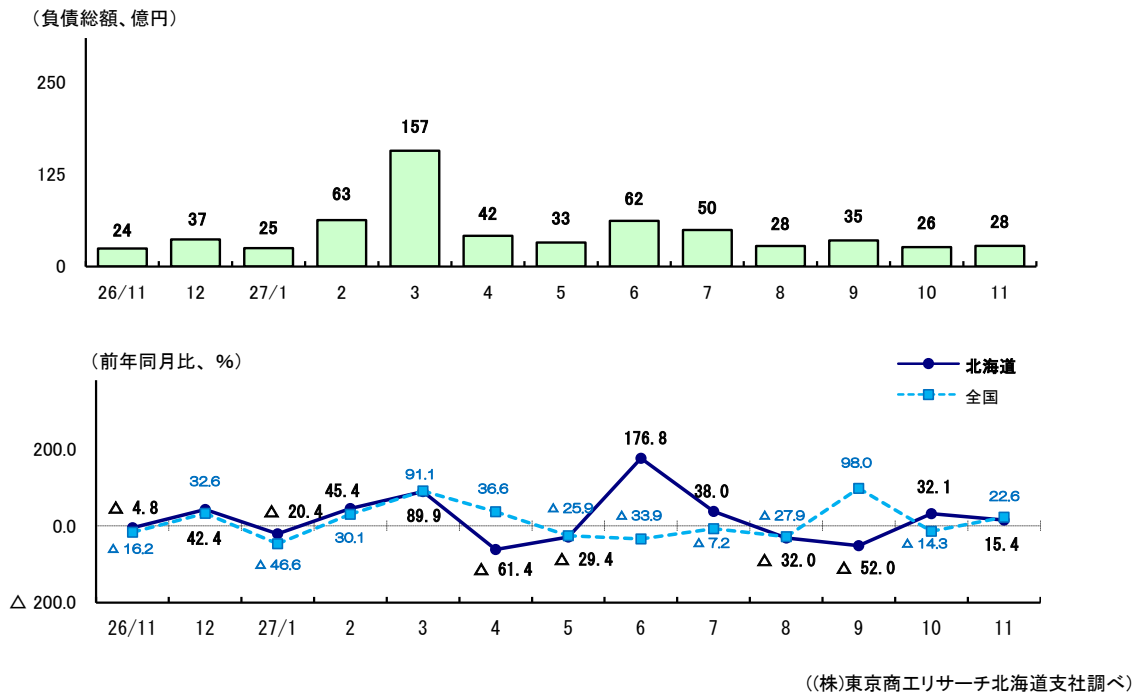
### ◆企業倒産件数（11月）◆

企 企業倒産件数は、15件で前年同月比7.1%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。



### ◆負債総額（11月）◆

負債総額は、28億円で前年同月比15.4%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。

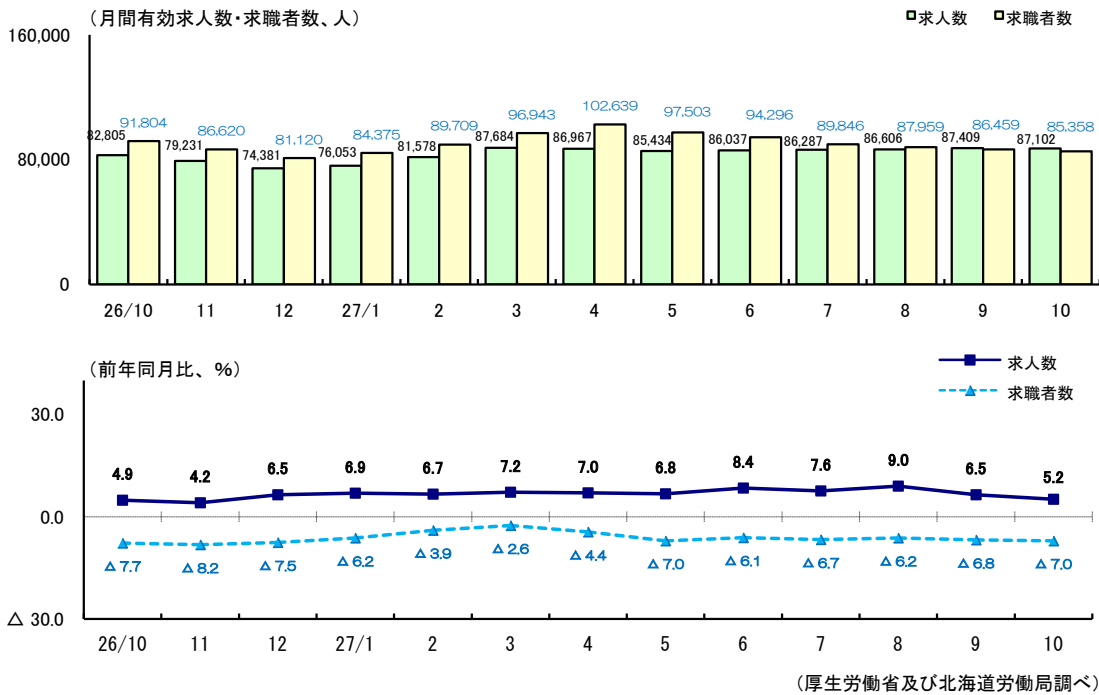


## [雇用動向]

### ■求人・求職～ 改善している

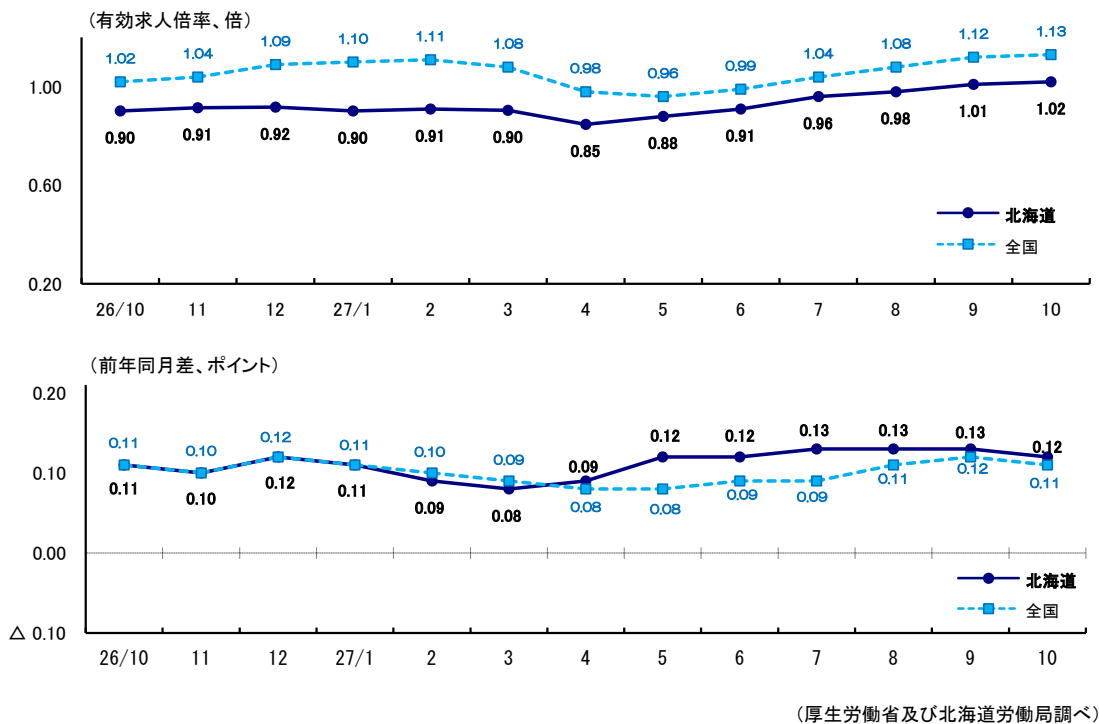
#### ◆月間有効求人数・求職者数（10月）◆

月間有効求人数は、8万7,102人で前年同月比5.2%の増加となり、69か月連続で前年を上回った。  
 月間有効求職者数は、8万5,358人で同7.0%の減少となり、48か月連続で前年を下回った。



#### ◆有効求人倍率（10月）◆

有効求人倍率は、1.02倍で前年同月差で0.12ポイントの増加となり、69か月連続で前年を上回った。

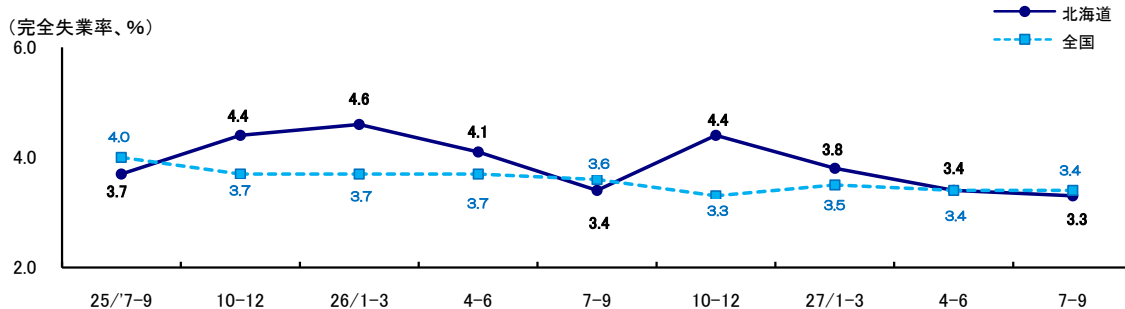
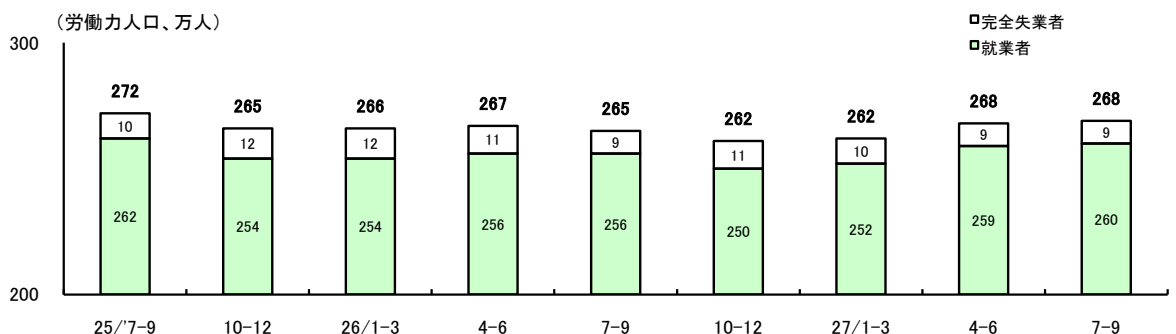




## ■失 業

### ◆完全失業者数、完全失業率（27年7-9月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と同数となっている。  
完全失業率は、3.3%で前年同期から0.1ポイント低下した。



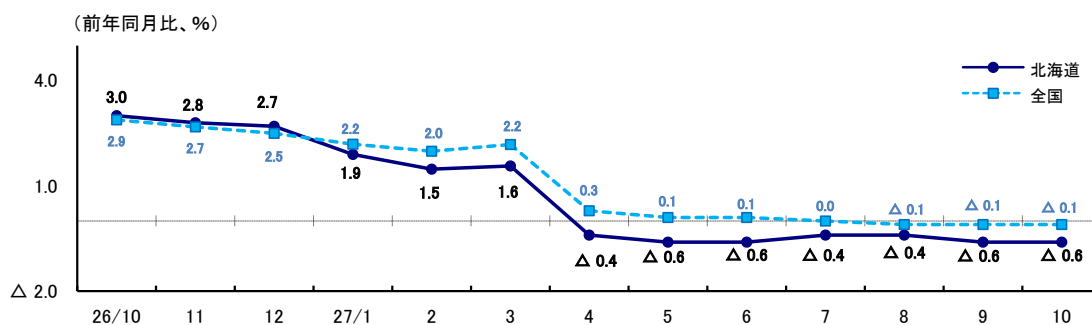
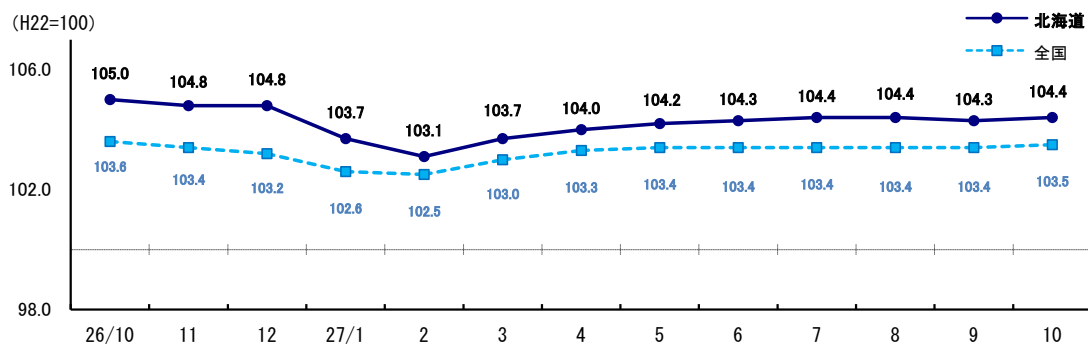
(総務省調べ)

## [物価動向]

### ■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

#### ◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（10月）◆

消費者物価指数は、104.4で前年同月と比べ0.6%の低下となり、7ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

## [企業情報]

### ■企業のみなさまから伺いました

#### ◆百貨店(道央圏)

---

##### 【売上はやや弱めで推移】

今年の11月の売上については、月末にまとまった降雪があったものの、比較的暖かい日が続いたことから、婦人コート、ブーツなど、主力となる冬物商品の落ち込みが全体の売上に影響し、前年同月と比較して厳しい状況となった。

##### 【インバウンドの買い物嗜好に変化】

インバウンドによる売上については、対前年同月比では大きく増加したが、高級時計などの売上が想定を下回ったため目標値を下回った。

12月のクリスマス時期にはインバウンド観光客の増加が見込まれるため、売上が増加することを期待している。

#### ◆スーパー(道央圏)

---

##### 【カット野菜が好調】

11月の売上は、月後半の降雪などの天候不良や土曜日が昨年比に比べ1日少ないことで、売上の減少も見込まれるところだったが、客単価が上昇し前年と比べ横ばいとなった。

生鮮野菜などは、昨年比に比べ価格が高止まりしているため、使い切りの1/2や1/4のカット野菜などが好調だった。

肉類や米を除き全体的に商品単価が上昇していることから、お客様の買上点数が少なくなってきており節約志向が続いていると感じている。

#### ◆コンビニエンスストア(道央圏)

---

##### 【堅調に推移】

11月は、前年の同月と比べると、第4週目の大雪の影響により、来客数は減少したものの、高い単価の商品の売れ行きが良かったことから、一人あたりの客単価も上昇し、売上げは増加した。

気温の低い日が多かったことから、カップ麺やインスタント麺などの麺類のほか、温かい飲み物の売れ行きが良かった。

クリスマスケーキやオードブル等の予約は好調で、少人数タイプの商品が売れている。

#### ◆サービス業(ホテル・旅館)(道央圏)

---

##### 【概ね堅調な業績】

業績については、震災以前の水準までは至っていないが、最近のインバウンド客の増加により、右肩上がり回復してきており、全体感としては、概ね「堅調」というところ。

よく「札幌市内のホテルは満室状態」と報道されているが、本当に部屋が取り難いのは週末である。

##### 【インバウンドの増加と課題】

全体に占めるインバウンド客の割合は、あまり高くないが、その影響は無視できないと考えてお

り、8カ国のTV番組の提供、Wifi環境の整備や外国語対応スタッフの明示など、お客様が安心して宿泊できるような体制を整えている。

一部のインバウンド客のマナーの悪さのため、他のお客様にご迷惑をお掛けすることが多々あり、今後の課題である。

### 【正規職員の登用の増加】

人手が足りないことは事実だが、現状のスタッフで出来なくはない程度である。

これからは、正規社員の採用を増やしていきたいと考えており、少しでも離職率を下げるため、スタッフの福利厚生に注力している。

## ◆自動車小売業(道央圏)

---

### 【長引く増税の影響】

11月は、例年、新年の初売りセールの前で売上が伸びない時期である。

昨年同時期は、軽自動車税増税前の駆け込み需要や会社を挙げての販促活動などにより、売上が大きく伸ばしたため、昨年との比較では若干の落ち込みがみられるところ。

売上が伸びる新春初売りセールや春先の就職シーズンまで、厳しい状態が続くこととなる。

### 【多岐にわたる車種選択肢とサービスの充実】

燃費が良いことは当たり前として、北海道という土地柄か4WDで室内空間に余裕がある車高の高い車が売れ筋となっており、ファミリー層がセカンドカーとして購入するケースが多くなっている。

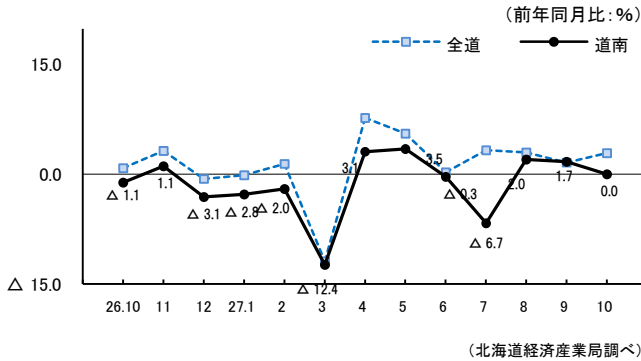
お客様に安心と安全を提供するため、定期的な点検・整備を安価で受けね最近の若者の車離れ傾向により、自動車ディーラーに就職を希望する学生が少なくなっており、営業、修理など各部門において慢性的に人手不足となっているが、品質の高い商品として車の魅力・価値をPRし、人材確保に努めていきたい。

# [地域の経済動向]

## ■道南圏

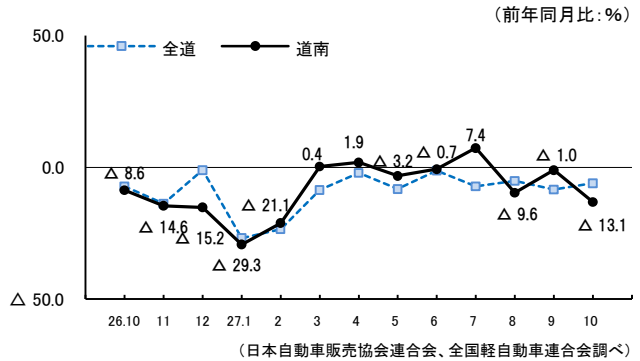
### ◆百貨店・スーパー販売額(10月)◆

(全店、函館市)  
前年と同じ販売額だった



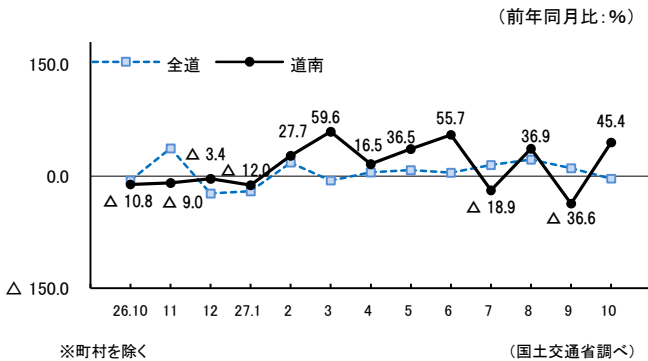
### ◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

3か月連続で前年を下回った



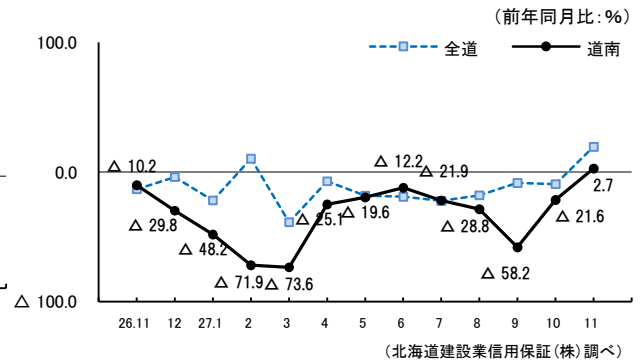
### ◆新設住宅着工戸数(10月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



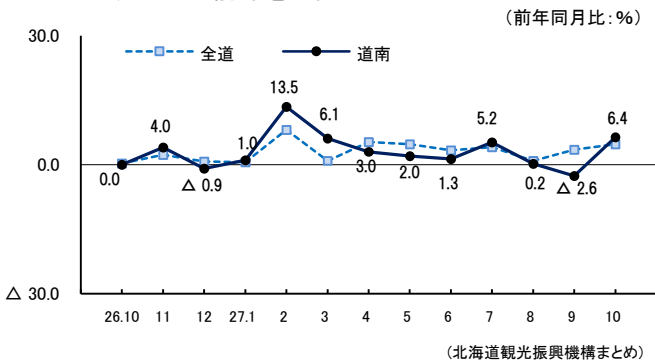
### ◆公共工事請負金額(11月)◆

14か月ぶりに前年を上回った



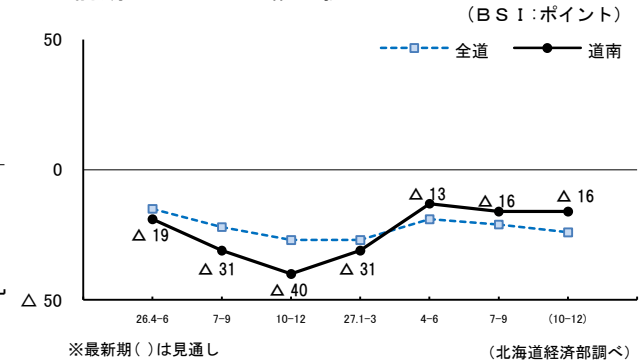
### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



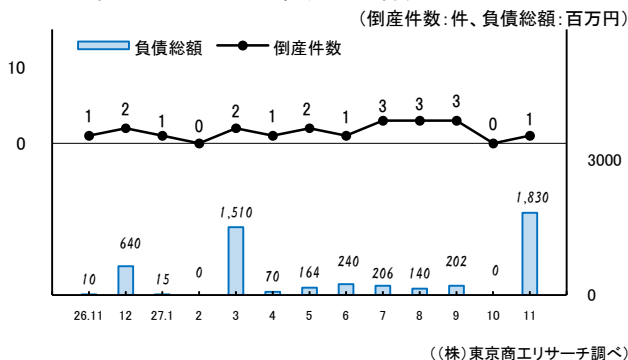
### ◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



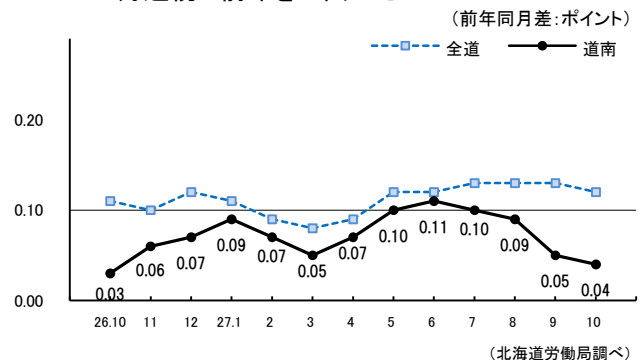
### ◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

10億円以上の大型倒産が1件発生した



### ◆有効求人倍率(10月)◆

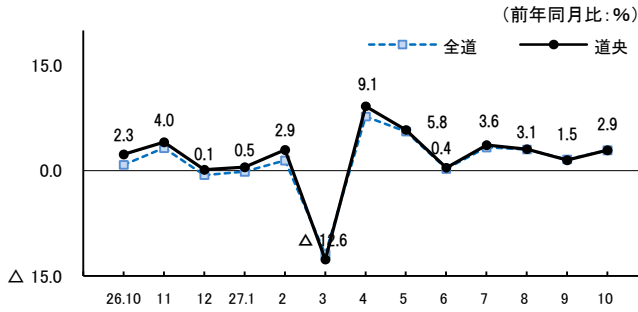
66か月連続で前年を上回った



## ■道央圏

### ◆百貨店・スーパー販売額(10月)◆

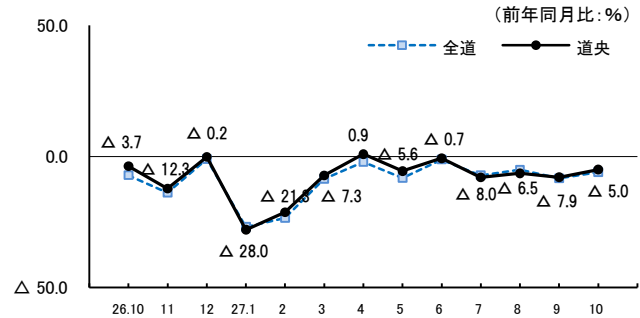
(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)  
7か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

### ◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

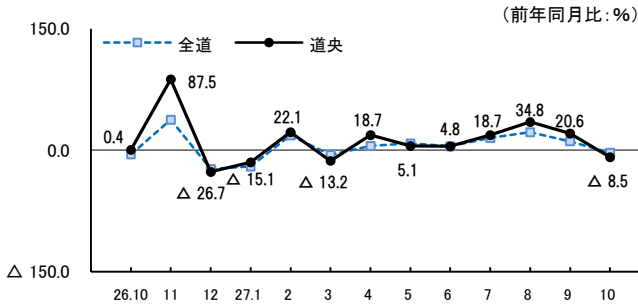
6か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

### ◆新設住宅着工戸数(10月)◆

7か月ぶりに前年を下回った

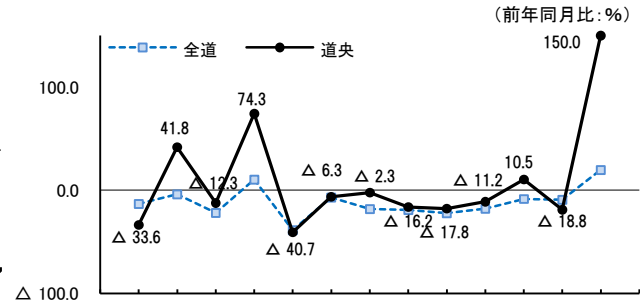


※町村を除く

(国土交通省調べ)

### ◆公共工事請負金額(11月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

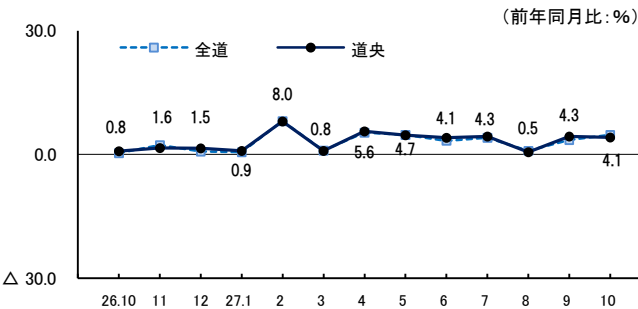


(北海道建設業信用保証(株)調べ)

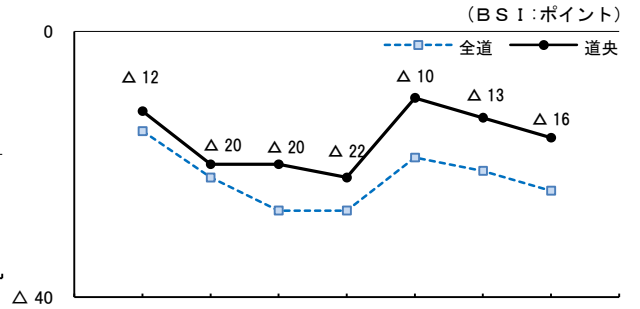
### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆ ◆企業の業況感(7-9月期)◆

16か月連続で前年を上回った

前期からマイナス幅が拡大した



(北海道観光振興機構まとめ)

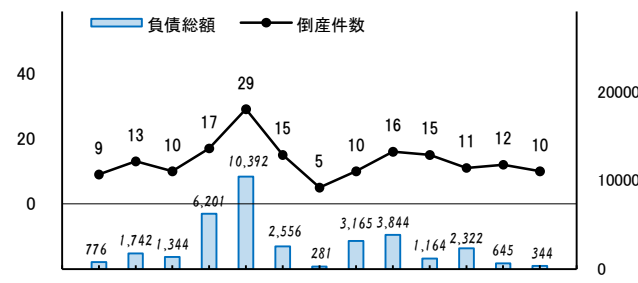


※最新期( )は見通し

(北海道経済部調べ)

### ◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

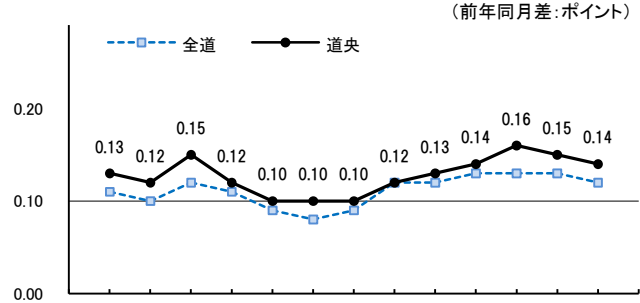
10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ

### ◆有効求人倍率(10月)◆

68か月連続で前年を上回った

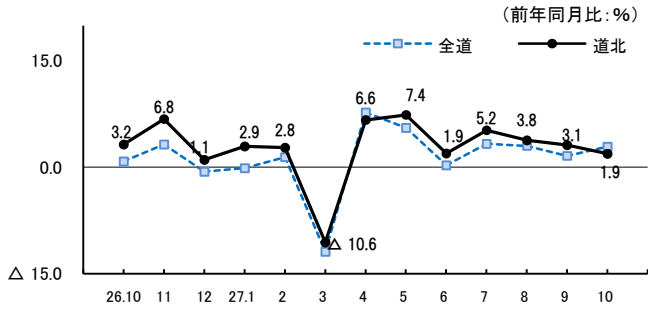


(北海道労働局調べ)

## 道北圏

### ◆百貨店・スーパー販売額(10月)◆

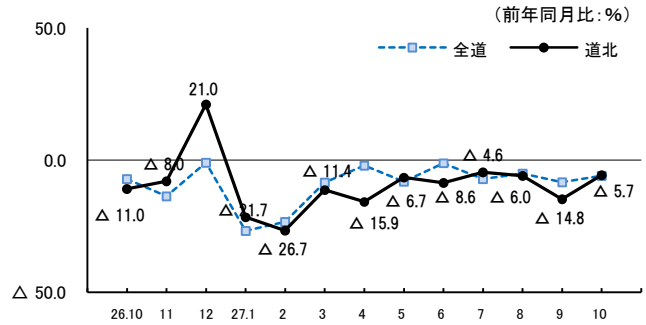
(全店、旭川市)  
7か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

### ◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

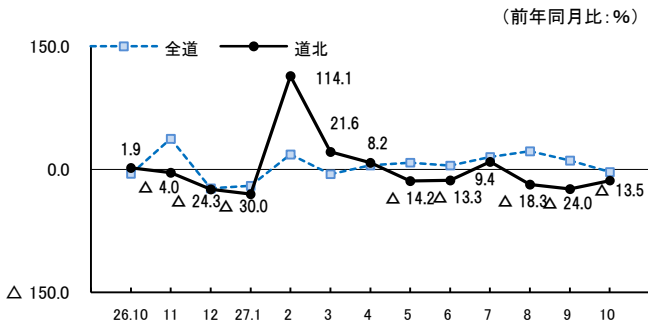
10か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

### ◆新設住宅着工戸数(10月)◆

3か月連続で前年を下回った

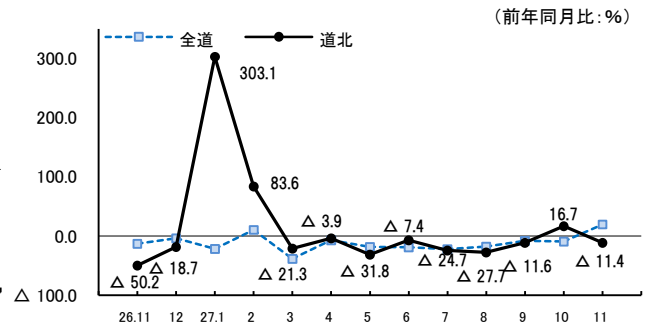


※町村を除く

(国土交通省調べ)

### ◆公共工事請負金額(11月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

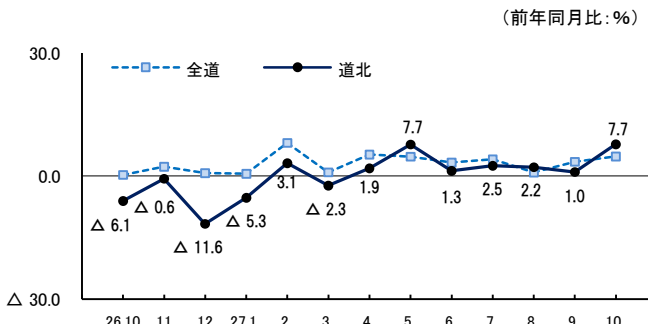


(北海道建設業信用保証(株)調べ)

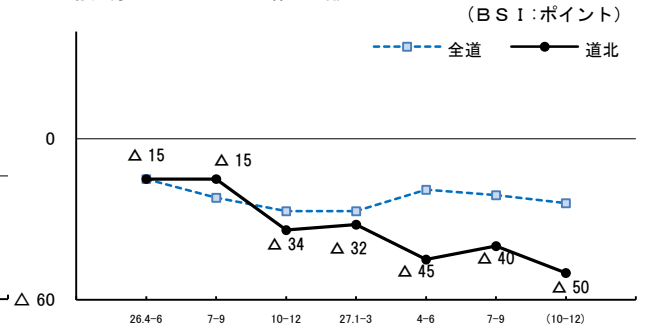
### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆ ◆企業の業況感(7-9月期)◆

7か月連続で前年を上回った

前期からマイナス幅が縮小した



(北海道観光振興機構まとめ)



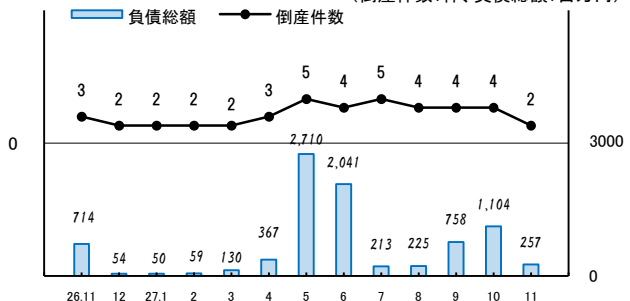
※最新期( )は見直し

(北海道経済部調べ)

### ◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

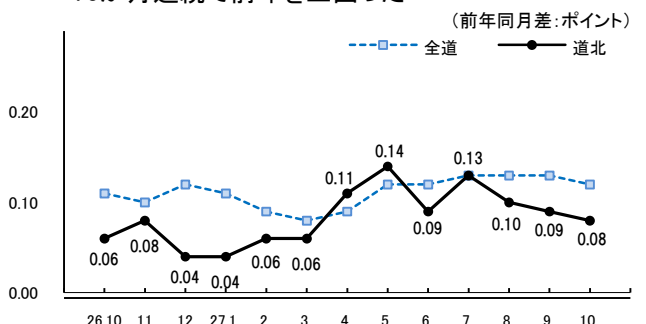
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

### ◆有効求人倍率(10月)◆

70か月連続で前年を上回った

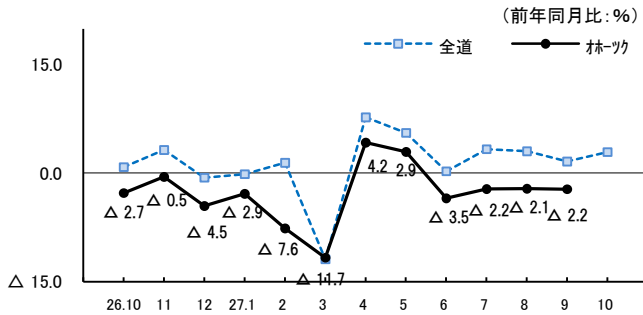


(北海道労働局調べ)

## ■オホーツク圏

### ◆主要小売店売上高(全店)(9月)◆

4か月連続で前年を下回った

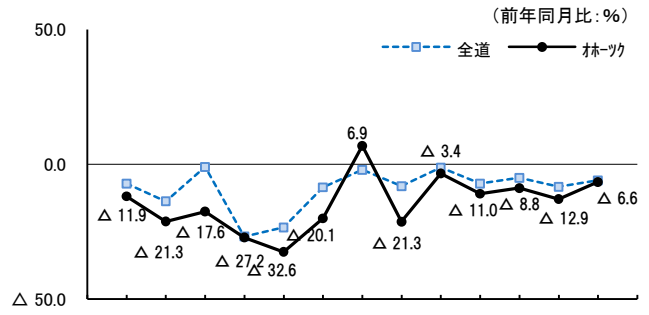


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所調べ)

### ◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

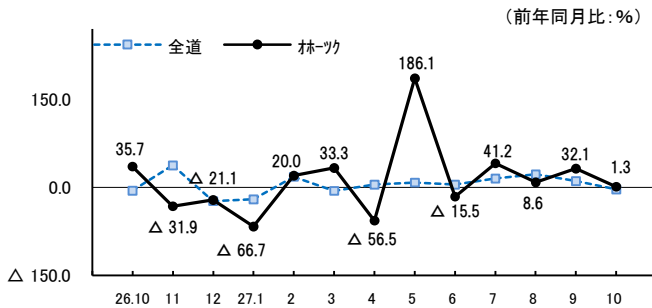
6か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

### ◆新設住宅着工戸数(10月)◆

4か月連続で前年を上回った

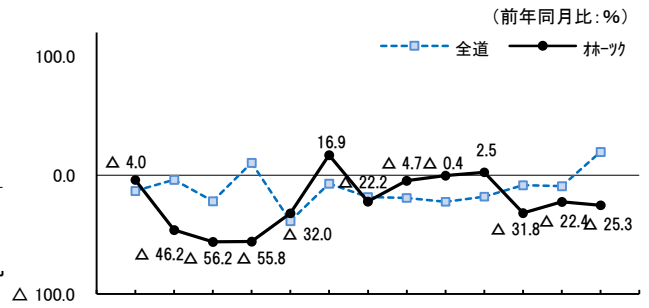


※町村を除く

(国土交通省調べ)

### ◆公共工事請負金額(11月)◆

3か月連続で前年を下回った

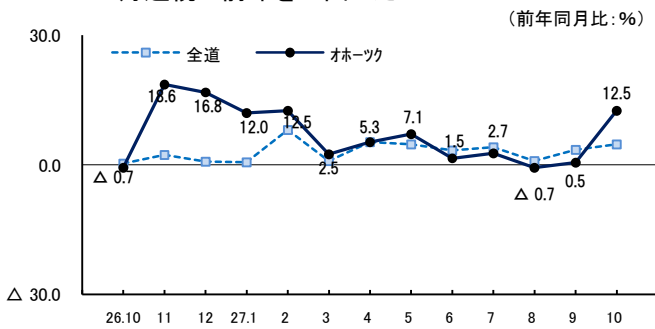


(北海道建設業信用保証(株)調べ)

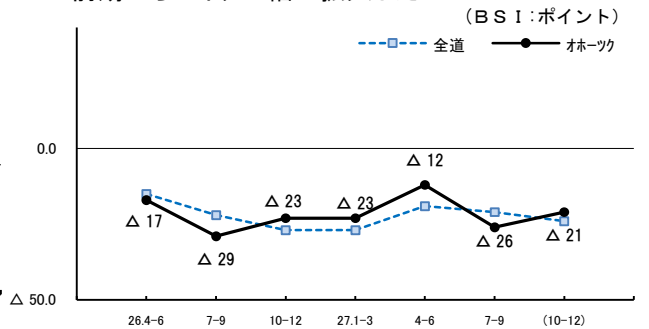
### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆ ◆企業の業況感(7-9月期)◆

2か月連続で前年を上回った

前期からマイナス幅が拡大した



(北海道観光振興機構まとめ)

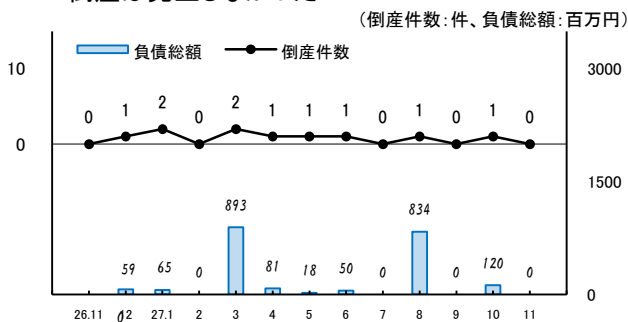


※最新期( )は見通し

(北海道経済部調べ)

### ◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

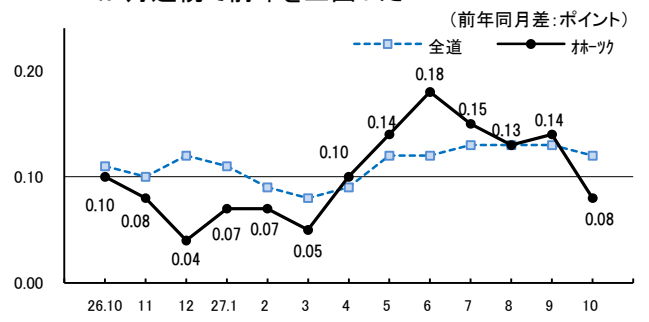
倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ調べ)

### ◆有効求人倍率(10月)◆

73か月連続で前年を上回った

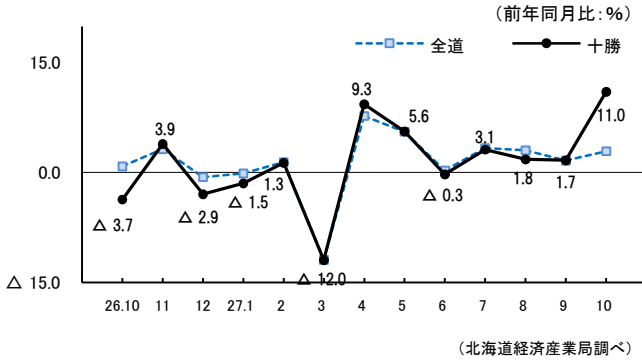


(北海道労働局調べ)

■十勝圏

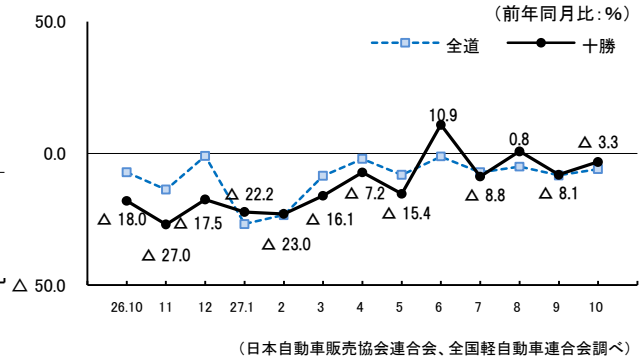
◆百貨店・スーパー販売額(10月)◆

(全店、帯広市)  
4か月連続で前年を上回った



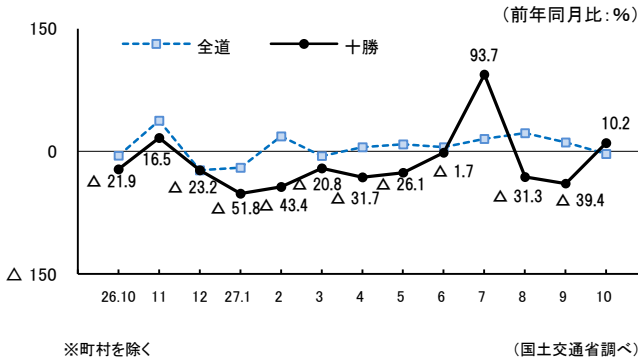
◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

2か月連続で前年を下回った



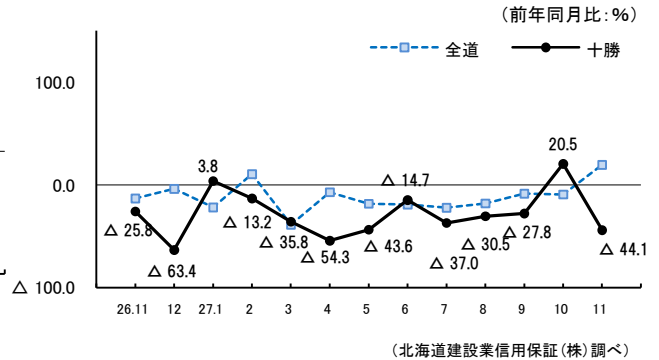
◆新設住宅着工戸数(10月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



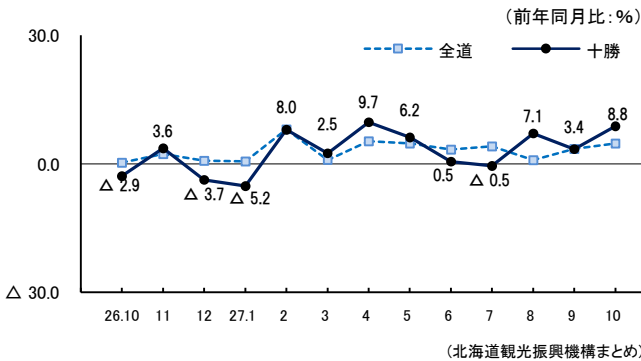
◆公共工事請負金額(11月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



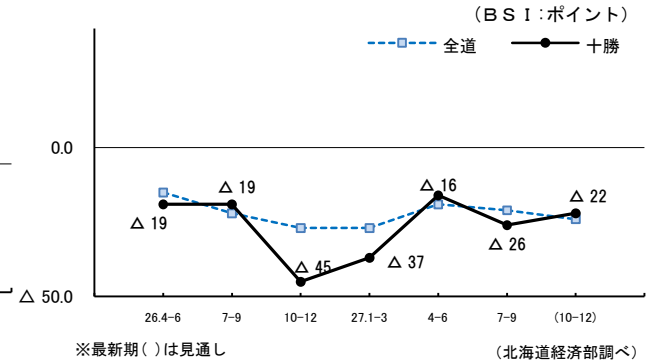
◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆

3か月連続で前年を上回った



◆企業の業況感(7-9月期)◆

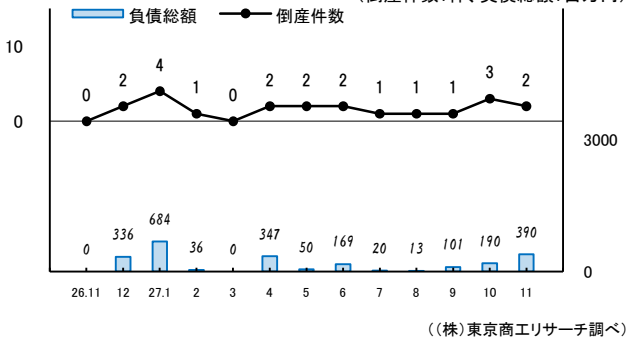
前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

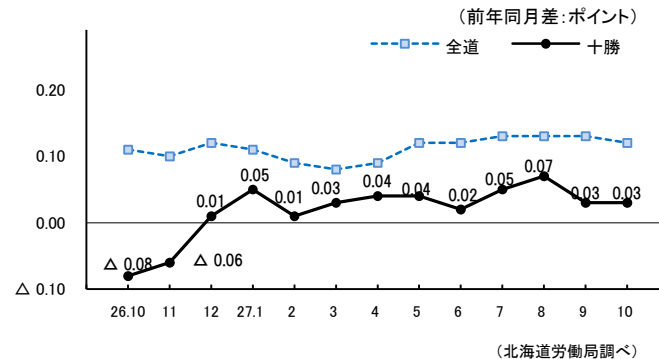
10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(10月)◆

11か月連続で前年を上回った



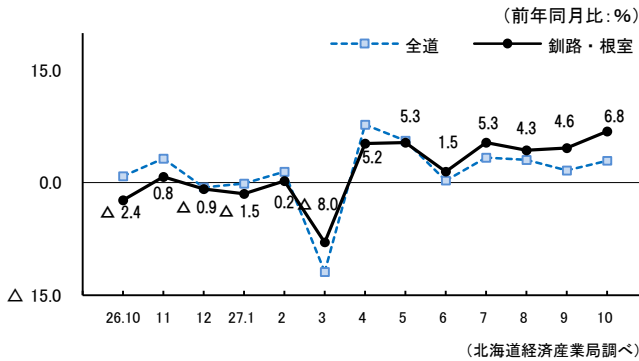


## ■釧路・根室圏

### ◆百貨店・スーパー販売額(10月)◆

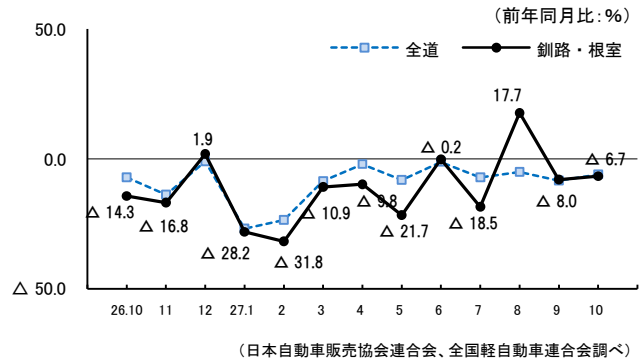
(全店、釧路市)

7か月連続で前年を上回った



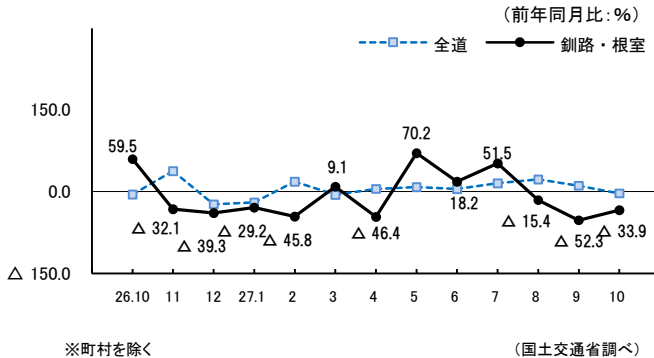
### ◆新車登録台数(乗用車)(10月)◆

2か月連続で前年を下回った



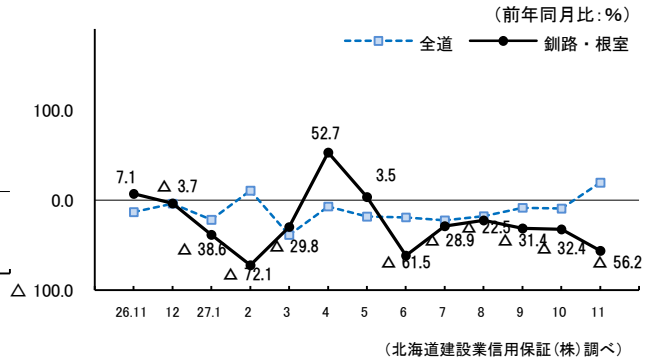
### ◆新設住宅着工戸数(10月)◆

3か月連続で前年を下回った



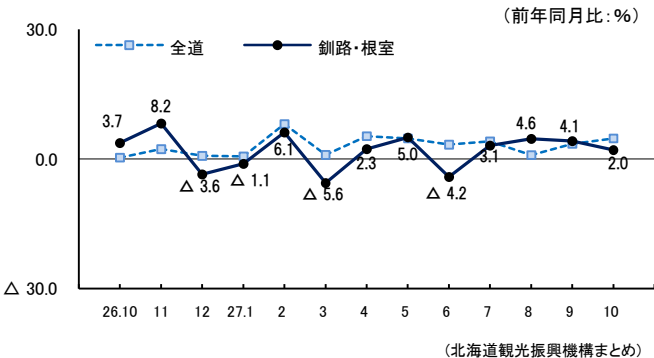
### ◆公共工事請負金額(11月)◆

6か月連続で前年を下回った



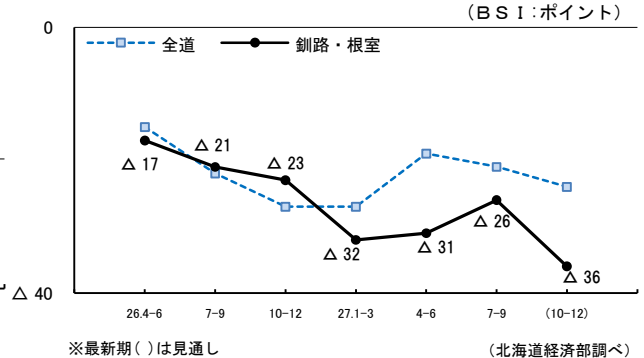
### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(10月)◆

4か月連続で前年を上回った



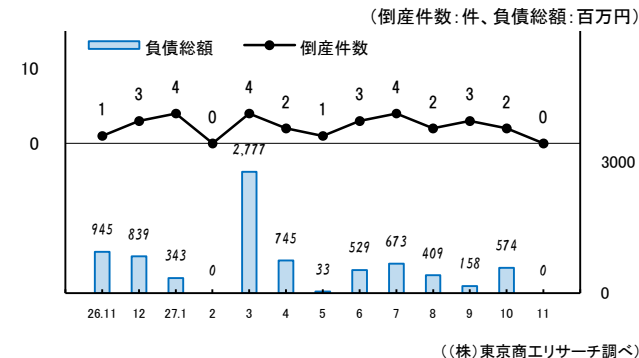
### ◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



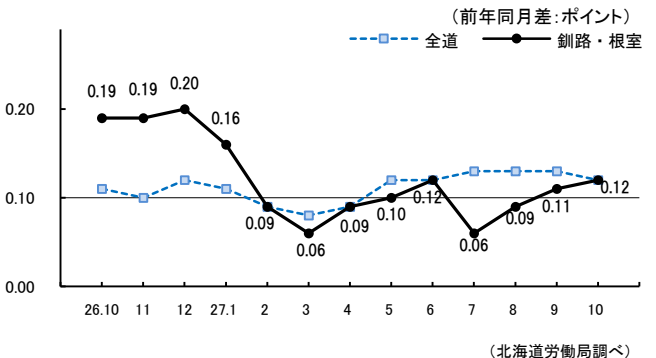
### ◆企業倒産件数・負債総額(11月)◆

倒産は発生しなかった



### ◆有効求人倍率(10月)◆

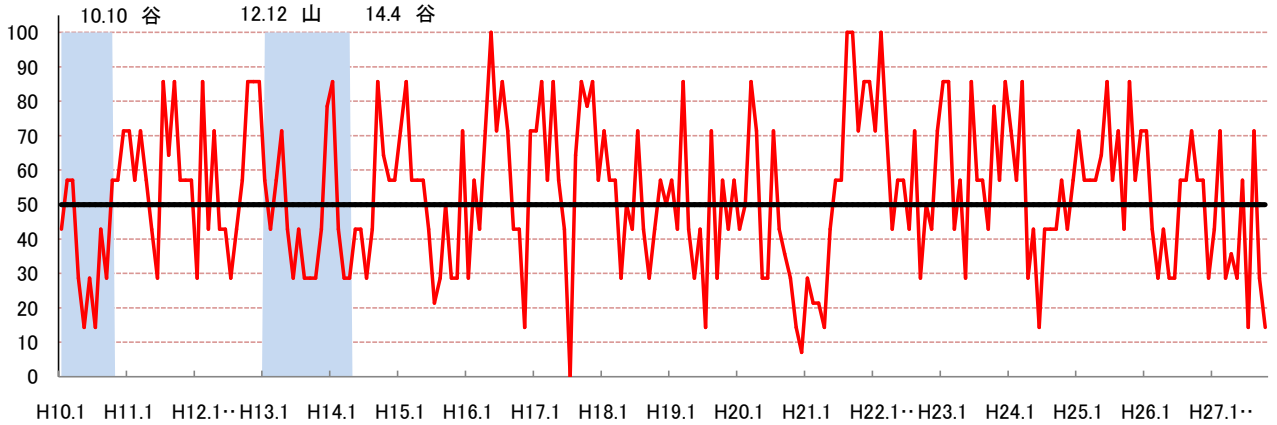
71か月連続で前年を上回った



# [景気動向指数・全国の景気]

## ■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		26/ 10月	11月	12月	27/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	+	+	+	+	+	-	-	+	+	+	-	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-
	生産指数(生産財)	0	+	-	+	+	+	-	-	-	-	+	r-	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	新設住宅着工戸数	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+
	拡張系列数	3.5	5	3	2	2	2	4	4	5	2	4	3	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	50.0	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	57.1	71.4	28.6	57.1	r 42.9	p 57.1
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	-	+	-	-	-	+	+	-	-	+	-
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	r-	p-
	出荷指数(生産財)	+	+	-	-	+	+	0	-	-	-	+	r-	p-
	大口電力使用量	+	-	+	-	+	-	-	-	+	-	+	-	-
	百貨店販売額(既存店)	+	+	-	-	+	-	+	+	+	-	-	r+	p-
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	-	-	+	-	-	-	+	+	+	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	r-	p-
	拡張系列数	4	4	2	3	5	2	2.5	2	4	1	5	2	1
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	57.1	57.1	28.6	42.9	71.4	28.6	35.7	28.6	57.1	14.3	71.4	r 28.6	p 14.3
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	-	+	+	+	-	-	-	0	0	-	-
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	+	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+	+
	生産指数(資本財)	-	-	-	+	-	+	-	+	+	+	-	r+	p-
	拡張系列数	0	1	0	4	3	3	0	2	2	2.5	3.5	3	1
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	0.0	20.0	0.0	80.0	60.0	60.0	0.0	40.0	40.0	50.0	70.0	r 60.0	p 25.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。PIは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

## ■全国の景気

### 我が国経済の基調判断

～景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、このところ弱含んでいる。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。

<内閣府月例経済報告(平成27.12.21)から抜粋>

**最近の経済動向**  
平成27年12月号

---

**編集・発行 北海道経済部経済企画室**

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>